



日本共産党文京区議会議員
まだち幹夫 通信
 2010年2月5日号 No.132

'みなさんをいつもまんやかに、'

区議団控室：5803-1317（直通）
 萬立幹夫事務所：文京区小石川2-23-7
 ・fax 3868-8355
 メール：mandachi@jcp-bunkyojugidan.gr.jp

《このニュースは区議団ホームページ <http://www.jcp-bunkyojugidan.gr.jp/>でもご覧いただけます》



今年はどうなるのか、区立保育園への申し込みは依然多くなっています

「区立保育園の定員改定やグループ保育の拡充」… 待機児数はどこまで解決できる？ 0歳児の対策は？」

来年4月からの認可保育園入園の申し込みが1月13日で締め切られました。申込状況を見ると今年も大変そうです。

区立園20園と私立7園（来年度開設のたんぼ保育園第二園含む）の募集に対して、申込数（第一希望の集計）が500人以上超過しています。「さしがや保育園」の0歳児は約2倍、「向丘」の1歳児は2・6倍、「柳町」の1歳児にいたっては4倍です。もちろんこのなかには、転園希望者なども含んでいます。待機児童数がどうなるのか、心配です。

区は来年度も、区立園の定数改定で36人の定員増をはかりますが、待機児ゼロにはまだ距離がありそうです。

私も区立園定員拡大など求めてきましたが、アレ？と思ったのは、0歳児の待機児対策はもっぱら「認証保育所のみ」になつていないか、ということ。一番手のかかる、また保育士や看

魚沼の郷土料理にすっきり 感激しました

先週号で報告した魚沼市への視察の2日目の昼のことです。

文京区との交流事業のひとつになっている「魚沼郷土料理と山菜とり体験」の1コマである料理を実際にいただきました。地元の「茶々の会」のみなさんが作ってくれた料理は、ぜんまいと野菜の煮物、ぼうだら、そして岩魚鮓とおにぎり。

とにかくヘルシーで、何より美味しい。岩魚の鮓は初めてでした。案内してくれた地元の役所の方も、これだけの料理を作れる人は少なくなつたとこぼしていました。ぜったいに残したい食文化です、ホントに。



裏面の「新春のつどい」の案内をご覧ください。



「きれい」と感じる前に残念ながら「危ない」が先行します。

東京にも積雪 足元にしなから少しロマンチックに

1日夕方から降り始めた雪は、翌2日朝には上がったものの、一面の積雪でした（写真は自宅からの様子）。都会の雪は

「きれい」と感じる前に残念ながら「危ない」が先行します。都会の雪は



まだち幹夫日誌

29日 議会運営委員会開催。その後

議員・区理事者との全員協議会。来年度予算案の概要説明がありました。15日から始まる定例議会では、予算特別委員会も行われます。私も委員の一人として質問します。夜、小石川郵産労の旗開きに。盛会でした。

30日 午後から養生会小石川白山支部の新年会。健康づくりのこと、景気悪化のこと、話は尽きません。区が来年度から通院時の院内介助の制度を発足させることなど、医療・福祉関係者の方もまだ知りませんでした。もっと伝えていかなくは。夜、町会の定例会議。

2日 「文の京文芸賞」の表彰式と交流会に参加しました。日本語を正しく使う選考委員の先生方の話は聞かせます。